

音文化

受験番号

（7枚中1枚目）

【必答問題】問題1と問題2に答えよ。

問題1

音楽と技術の関係について、3つの具体例を挙げて、音楽史ないしはメディア史の観点から、それらを比較しながら論ぜよ。その際、下記の6つのキーワードから、少なくとも3つのキーワードを使うこと。必要に応じて図を用いてもかまわない。（40点）

キーワード1：印刷

キーワード2：鋳造

キーワード3：録音

キーワード4：放送

キーワード5：デジタル化

キーワード6：インターネット

問題1 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

--

音文化

受験番号

（7枚中2枚目）

問題2

下記のキーワードから4つ選び、聴覚文化論、メディアアート、音楽理論、音楽史、音楽文化論、作曲のいずれかの観点からその特徴と意義を説明せよ。必要に応じて図を用いてもかまわない。（60点）

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. バイノーラル録音 | 7. アンビエントミュージック | 12. 雅楽 |
| 2. 純正律 | 8. ライトモチーフ | 13. アルビン・ルシエ |
| 3. 正弦波 | 9. 即興演奏 | 14. 機能和声 |
| 4. ミサ曲 | 10. 数字付き低音 | 15. 32bit フロート録音 |
| 5. Dolby Atmos | 11. サイレント楽器 | 16. 西村朗 |
| 6. テルミン | | |

問題2 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

音文化

受験番号

（7枚中3枚目）

【選択問題】問題3～7から2つ選択して答えよ。（各50点）

問題3

下記の図はルイージ・ルツソロらが制作した楽器である。この装置の名称を記すとともに楽器の動作の仕組みを説明せよ。必要に応じて図を用いてもかまわない。

著作権上の理由により、非公開としています。

問題3 解答欄

装置の名称：

動作の仕組み：

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

音文化

受験番号

（7 枚中 4 枚目）

問題 4

以下は、音楽産業における、ある技術の成長予測（左）ならびに 2023 年時点でのその使用用途（右）を示した図である。この技術の名称ならびに使用用途 A、B に該当する語句を記すとともに、図から読み取れる事実を音楽史並びにメディア史の双方の観点で踏まえ論ぜよ。

著作権上の理由により、非公開としています。

画像出典：market.us（出題のため一部改変）

問題 4 解答欄

技術の名称：

使用用途 A：

使用用途 B：

図から読み取れる事実：

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

音文化

受験番号

（7枚中5枚目）

問題5

現代に至るまでの音楽作品の構造と場の関係について、音楽史・音楽理論・音楽文化論の観点から、複数の時代・地域の事例を挙げてその特徴を説明せよ。その際、下記の5つのキーワードから、少なくとも3つのキーワードを使うこと。必要に応じて図を用いてもかまわない。

キーワード1：宇宙

キーワード2：劇場

キーワード3：教会

キーワード4：家庭

キーワード5：「いま・ここ」性

問題5 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

--

音文化

受験番号

(7枚中6枚目)

問題6

現代に至るまでの音楽体験と共創の関係について、音楽史・音楽文化論および音楽マネジメントの観点から、複数の時代と地域の事例を挙げてその特徴と変遷を説明せよ。その際、下記の5つのキーワードから、少なくとも3つのキーワードを使うこと。必要に応じて図を用いてもかまわない。

キーワード1：応唱

キーワード2：コラール

キーワード3：身体性

キーワード4：フルクサス

キーワード5：プレイリスト

問題6 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

--

音文化

受験番号

（7 枚中 7 枚目）

問題 7

音と音楽の境界を問う作品とその創作者の例を3つとり上げ、その特徴と歴史的・美学的背景を説明せよ。例は、それぞれ異なる地域や年代とするが、3つの例の共通点と違いについて論じること。必要に応じて図を用いてもかまわない。

問題 7 解答欄

裏面には解答しないこと。裏面に解答しても採点しません。

--